

医療最前線 命を支える最新医療

最新型320列CTで心臓撮影も

わずか0.35秒で完了!

松波総合病院に、全国でもまだ数が少ない最新の320列CTが導入され、3月1日から稼働を始めました。そこで、320列CTの特長、威力を発揮する分野などについて、当院循環器内科森田則彦医師に話を聞きました。

迅速な診断からの確かな治療へ。 心筋梗塞や狭心症の検査に威力を発揮。

松波総合病院副院長・循環器内科

森田 則彦

専門分野: 循環器疾患(心臓・大動脈・末梢血管)

認定資格: 日本循環器学会: 専門医

日本内科学会: 指導医・認定医

日本カテーテル治療学会: 指導医

日本心血管インターベンション学会: 指導医



当院が320列CTを導入した最大のねらいは、心筋梗塞や狭心症など、冠動脈の病気の早期診断です。導入して3ヶ月が経ちますが、予想以上の効果が現れています。というのも、心臓カテーテル検査は入院が必要な上に、患者さんに与える肉体的・精神的な負担も大きく、検査をためらう患者さんもいらっしゃいました。また、従来のCTでは、常に動く心臓の全体を撮影するのに、台の移動が必要なため、ズレが生じたり、精度も十分ではありませんでした。

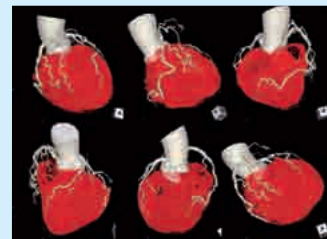
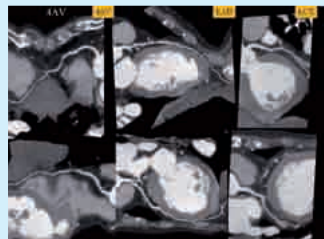
しかし、心臓全体を1回転0.35秒で撮影できる320列CTなら、患者さんに与える様々な不安も軽減され、入院も不要なので、小児からお年寄りまで、幅広い患者さんに利用していただけます。その結果、初期段階から心臓疾患を発見し、適切な治療へとつなげることができます。高血圧、高脂血症、喫煙、ストレスなど、動脈硬化の危険因子をお持ちの方、狭心症が気になる方は、いつでもご相談ください。



「最先端の装置を使って仕事ができるのは大きな魅力。モチベーションも高まります。」
ドクターの診断を支える中央放射線室の小島技師(左端)と田中技師(右端)

患者さんにやさしい検査を提供します。 ～最新型320列CTのメリット～

320列CTの最大の特長は、16cmの広範囲を一瞬で撮影できること。常に動いている心臓も、わずか0.35秒で、ブレなく鮮明に映すことができます。撮影時間が大幅に短縮された分、使用する造影剤の量や放射線被ばくも軽減でき、心身の負担が少なくなります。



体験者の声

「エッ、もう終わったの?」

正直、検査する前は不安がありましたが、実際にやってみたら「エッ、もう終わったの?」という感じ。思ったより簡単でした。検査結果がその日のうちに出るのもうれしいですね。長時間、不安な思いを抱えていなくてすみますから。
羽島市にお住まいのTさん



チーム医療

感染
対策
(ICT)

栄養
サポート
(NST)

呼吸
ケア

褥瘡
対策

緩和
ケア

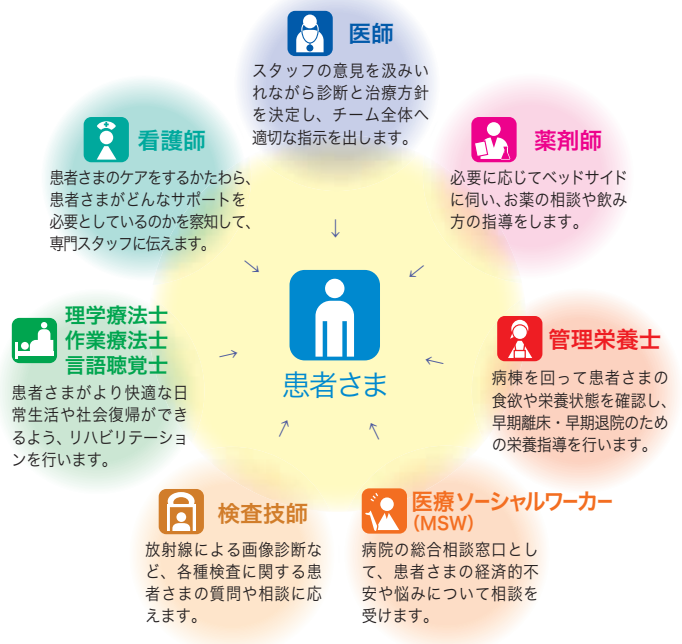
いま医療現場では、多職種の医療職者が連携しながら一人の患者さまの治療にあたる「チーム医療」が注目されています。当院にも現在、感染対策チーム（ICT）、栄養サポートチーム（NST）、呼吸ケアチーム、褥瘡対策チーム、緩和ケアチームの5つのチームがあり、地道な活動を続けています。では、チーム医療とはどんな医療で、具体的にどんな活動をしているのでしょうか。6回にわたってご紹介していきます。



チーム医療ってなに？

さまざまな職種がチームを組み専門性を発揮しながら患者さまをサポート。

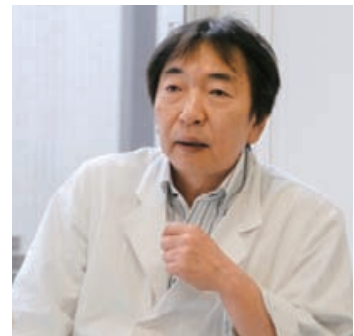
かつては一人の医師が中心となって診療を行っていましたが、チーム医療では、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士など、医療に関わるさまざま職種が患者さまの病状に応じてチームを組み、意見を交換しながら患者さまの置かれている状況を分析し、患者さまが心身ともに健やか生活が送れるよう、治療とサポートを進めていきます。



医療の質と患者さんの満足度を高めるために——。

チーム医療の中で医師が果たす役割は、チームの舵取り役として、チームを構成するメンバーの知識や意見を引き出していくこと。メンバー全員が各分野の専門家として、私たち医師にはない知識や経験、技能を持っていますから。それらを出し合って、患者さんにとって最善の医療を探り、実践していくのがチーム医療です。

もちろん、医療の主体は患者さん。私たち医療従事者は、患者さんやご家族の意見や希望に耳を傾け、患者さん一人ひとりの満足度を高める医療を提供したいと願っています。病気や生活のことで心配なこと、困ったことがあれば、お気軽にご相談ください。



チーム医療を統括する森田則彦医師
(当院副院長・循環器内科)

脂質異常症

(高脂血症)

生活習慣病センター センター長

安田 圭吾

専門分野: 糖尿病・内分泌代謝

認定資格: 日本内科学会: 指導医・認定医

日本糖尿病学会: 指導医・認定医

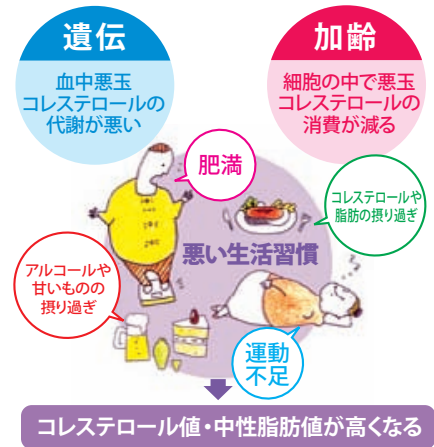
日本内分泌学会: 指導医・認定医

日本病態栄養学会: NSTコーディネーター



血液中のコレステロールや中性脂肪が高値であることから、高脂血症と呼ばれていましたが、現在はこれらに加えHDLコレステロールが低値であることも、動脈硬化性疾患(狭心症、心筋梗塞、脳梗塞など)の危険因子として深く関与することから、「脂質異常症」といわれるようになりました。

脂質異常症では血管壁に脂肪が蓄積、血管内腔が狭くなり、動脈硬化性疾患の危険が大となります。脂質異常症の治療には、食事、運動、禁煙など生活習慣の是正が大切で、これらでよくならない時は、治療に非常に有効な薬が開発されているので、検診などで脂質異常を指摘された方は、病院にご相談ください。



八木管理栄養士がお届けする

体にeヘルシーレシピ



松波総合病院
八木管理栄養士

高脂血症を予防する いわしのカルパッチョ



2人前
240 kcal

<材料・2人前>

いわし 切り身80g(中2尾分)
味付ぼん酢…… 大さじ2
レモン汁……… 大さじ2 } A
オリーブオイル… 大さじ1
大葉…………… 2枚
玉ねぎ………… 1/2個
レモン、パセリ…… 適量

<作り方>

- ① いわしは手びらきにし、皮をむいて食べやすい大きさにきる。
- ② 玉ねぎは薄切りにして水にさらし、大葉は千切りにする。
- ③ いわし、②の大葉、Aを合わせ、冷蔵庫で30分～1時間ほど漬け込む。
- ④ よく水けを切った玉ねぎを皿に敷き、③を盛りつけ、レモン、パセリを飾る。

※③のとき、荒挽き黒こしょうを加えるとスパイシーな味になります。また、薄切りにした玉ねぎもこのときに一緒に漬け込んでも◎です。

↑ここがヘルシーポイント!

いわしなどの青魚やオリーブオイルには、LDLコレステロールを減らす不飽和脂肪酸が多く含まれています。しかし魚に含まれる多価不飽和脂肪酸は酸化されやすい油なので、新鮮な魚を使うとともに、抗酸化物質の多く含まれる野菜や柑橘類などと一緒にとるようにしましょう。いわし以外にもアジやマグロなどでもお試しください。

知ってトクする

荒川薬剤師の



Q. 薬の飲み方には食前、食直前、食間、食後などがありますが、具体的にいつ飲めばよいですか？

A. 「食前」はご飯を食べる30分ぐらい前、「食後」はご飯を食べってから30分以内に薬を飲んでください。「食直前」は食前とは違い、ご飯を食べる5分以内に飲んでください。また、「食間」は食事中ではありません。ご飯を食べた後2時間位経過してから飲んでください。

薬は食事の影響を受けることがあります。服用時間を守らなければ、副作用の出現や効果の減弱、薬によっては全く効果が現れなくなってしまうこともあります。服用時間を守ることが、薬の効果を最大限に発揮し、副作用の予防にもつながります。



まつなみ Information



第3回EQ院内研修会が開催されました

EQ (Emotional Intelligence Quotient) とは、情動知性 (自らの感情の状態を知覚し、他者の感情の状態や感情に関する知識を理解し、感情面、知的側面での成長を促すために、自らの感情を調整する能力) を言います。当院では、全職員がこのEQを向上させることで、患者さま・利用者さまの満足度向上をめざしています。その一環として、2月から2か月に1度のペースで標記研修会を開催しました。(一般職員は修了、8月からは役職者を中心に引き続き研修します) 医療・介護従事者が患者さま・利用者さまの視点で考え、行動できるようになるため、今後とも繰り返し、繰り返し、身に付くまで努力して参ります。



自身の態度・姿勢・性格を知り、コミュニケーション能力の向上に日々努力し、選ばれる病院をめざしていきたくて思いました。

7月の講習会・イベントのご案内

糖尿病教室 運動・食事实習会

糖尿病患者様の運動・食事について、実際に調理をしながら学びませんか？

日 時 平成22年7月4日(日) 10:00~13:00
場 所 松波総合病院 リハビリテーション室(B1F)
テ ー マ 『あなたの体力年齢調べます』
～体力測定から運動処方まで～
参加費 1,000円(昼食代込み)
持 ち 物 タオル、筆記用具
運動できる服装・運動靴で参加してください。

※注意事項

- ・対象は糖尿病患者様とその家族(1名様まで)です。
- ・お子様の参加はご遠慮ください。
- ・参加ご希望の方は、申込用紙をご記入の上、参加費と共に受付までお持ちください。
- ・先着30名になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。

糖尿病教室 夏の入門コース

糖尿病教室 入門コースでは、糖尿病とはどのような病気かなど基本事項をわかりやすく解説します。

日 時 平成22年7月17日(土) 14:00~16:00
場 所 松波総合病院 3階講堂
テ ー マ ① 『糖尿病とは』
松波総合病院 第二消化器内科部長 伊藤 康文
テ ー マ ② 『クイズでまるわかり!糖尿病のおくすり』
松波総合病院 薬剤師
参加費 無料

※注意事項

- ・事前申し込みや参加費は必要ありません。どなたでもお気軽にご参加ください。



生活習慣病管理部の石黒管理栄養士
(内線2183) までお電話ください。

かかりつけ医院のご紹介



羽島郡 岐南町の河合内科クリニック

内科 小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 4:00~7:00	○	○	○	—	○	—

—: 休診

休診日 日曜日・祝日

〒501-6012
岐阜県羽島郡岐南町八剣8-43
☎058-247-6630

院長: 河合 潔

当クリニックでは、主に内科疾患の生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症等)、慢性肝疾患と感染症の診断と治療を行っています。検査としては、超音波検査、X線検査、心電図などを実施しています。医療連携により、内科疾患以外に軽症のうつ病、認知症にも対応しています。松波総合病院と共に、地域医療の一員として宜しくお願い申し上げます。



お気軽にお問い合わせください。

☎058-388-0111
<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>



当院は、病院内・敷地内
全面禁煙です。
皆様方のご理解とご協力
をお願いします。

社会医療法人 藤西厚生会
松波総合病院 〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町代185-1